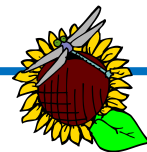


新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、日常生活が戻ってきました。しかし、全国的に感染拡大の傾向が続いているようで、岐阜県にも「夏休みの感染拡大に警戒を！」という知事からのメッセージ（7/14）が出されました。人流が活発となるこの時期、今一度、場面に応じた適切な感染対策について留意し、活動を進めていきたいと思っております。



中学校区別補導委員研修会

6月22日・23日・26日・27日

今年度の校区別研修会は、4年ぶりに前半は「全体会」、後半は「校区別研修会」という例年通りの形で開催し、「全体会」で「講話」を聞くことができました。

研修 「青少年を取り巻く環境について」

講師：岐阜県警察本部 生活安全部少年課
少年育成支援官 丹羽 恭子 様

少年非行の件数は減っているが、児童虐待対応件数は右肩上がりである。青少年の問題行動は、SNSでのトラブル・援助交際・リストカット・薬の大量摂取・高額バイト・闇バイト等、非行とは別の形となって現れている。



例えば、SNSに「依存先募集中」という書き込みが見られる。これは、子ども達の満たされない心・必要とされたい気持ち・孤立感の表れである。子ども達は、大人に相談しても無駄だと思っている。誰かと繋がりたいが現実の生活では実現できず、繋がりをネットに求めている。

では、大人は何をしたら良いのか ⇒ 地域の人にしかできないことがある！

(1) 子ども達を見守る。

ゆったりとした心で地道な見守りをする。子ども達に挨拶をする、子ども達の話の話を聞く等。子ども達は「相談してもいいんだ。聞いてくれるんだ。」と思う。

(2) 地元の行事に参加させる。

行事を通して、カッコいい大人の姿、子ども達のモデルとなる姿を見せる。

(3) 子ども達の状況を地域に知らせる。

子ども達はこんな状況になっている…と知らせる。

そして地域で、「地域の状況」「子ども達の環境」を良くしていこう！ と呼びかける。どんどん子ども達を誉めてほしい。 にこにこした笑顔で子ども達と触れ合ってほしい。

☆彡 一人でも多くの子に笑顔の花が咲きますように！ ☆彡

<少年センターより> 4月～6月の補導活動から

- ・積極的な声かけ、雨天時の店舗巡回をしていただいている。
- ・子ども達に出会える場所等の情報共有をお願いしたい。

<各学校の様子等>

- ・学校行事など皆で動く機会が戻りつつある。プールも始まり、子ども達はうれしそうである。
- ・SNSに関係する問題行動が見られ、指導している。
- ・水の事故防止について、学校でも事前指導をするが、地域でも見守っていただきたい。



日本善行会表彰〈銀章〉受賞

おめでとうございます

永年(28年間)にわたっての補導委員としての実践が評価され、上松征夫様が、令和5年度日本善行会特別表彰「善行銀章」を受賞されました。



市長室で報告される 上松征夫様(右側)

《6・7月の補導日誌から》(一部抜粋)

暑さきびしい中での補導活動をありがとうございます。人の動きが活発になり、公園にも少しずつ元気な子ども達や親子連れの姿が見られるようになってきているようです。補導委員の方も活動の仕方をいろいろ工夫され、積極的に巡回して頂きうれしい報告を頂いております。



那加中校区

◆夏日の気温は越えたが、少し風もあり爽やかな暑さとなった。そのせいか行く先々で多くの元気な子ども達に出会うことができた。今回は保護者同伴の姿が多く、休日の夕方の家族と過ごす光景に心が和む。保護者とも挨拶や元気なやり取りができ、気持ちも明るくなる。地域の方々のご努力で数か所の公園で整備の跡が見られた。楽しい巡回となった。

桜丘中校区

◆雨予報もあり、今回はイオンモール各務原店内の補導活動としました。

3階のゲームコーナーで一人姿の小学生に「親と来たこと」を確認した。2階のナムコでは、児童生徒の姿が多数見られた。店内では、腕章をみて反応する児童生徒もあり、特に声をかけることもなく補導委員の左腕の腕章を児童生徒に見せるように巡回した。

稲羽中学校区

◆浄水公園では、野球のグループがいて、いつもより活気がありました。犬の散歩をしている人、自転車バイクの練習をしている若い男性グループがいましたが、特に問題ありませんでした。

◆三井山公園の池の回りの遊歩道で、池の北側の保護柵に直径50cm程の枯れ木が倒れ掛かり歩道をふさいでいました。

⇒現地確認をし、関係部署に伝えました。

川島中学校区

◆エーザイ西側にある川で先日、小学生くらいの子が泳いで遊んでいるとの目撃情報があったので現地確認しました。この地点は他の所より深く水深1メートルほどありそうなので、遊ぶには少し危険かと思われました。

⇒川島小学校に情報提供しました。

鵜沼中校区

◆5月～6月にかけて開店もしくは、新装開店したゲームセンターやゲームコーナーを見て回る。どのお店もクレーンゲームを中心に現金で遊ぶゲーム機が中心だった。各務野自然遺産の森では、体験学習室が開催されていた。竹でつくった容器を持って「流しそうめん」を体験していて、とても楽しそうではほえましく感じた。

緑陽中校区〈夏季特別補導おがせ花火大会〉

◆大勢の人が見物に来場していたため、巡回が困難なほどの盛況ぶりでした。

花火後に公園に残っていた子ども達に22時になることを伝え帰宅を促すとみんなが素直に帰宅しました。駐車場まで歩いていく際に女子高校生3名と会ったが、一緒に歩くと安心なのでとついてきたため、駐車場まで一緒に移動した。



蘇原中校区

◆当日は猛暑日であったが吉野公園では10人程の子ども達が楽しく野球をしていて、お辞儀や挨拶をする等礼儀正しい姿が見られた。ゲームセンターでは、補導活動の説明をして店内を回ろうとすると、店内放送で「16歳未満のお客様への入店時間の制限等について」の注意喚起を促す放送が流れ、同時に店内を巡回する事ができお店側も協力的なのだと感じた。

中央中校区

◆空の森公園では小学生のサッカー練習中だった。アピタ2F新装ゲームコーナーは、雰囲気明るく親子連れの利用が多かった。

◆今日は雨で、浪漫遊はほぼ満車で、子ども連れの親子が多かった。子ども達も雨の日はストレスがたまるのか、雨が上がった三ツ池西公園では、男子4人がサッカーをしていた。